

今月のコラム

ガーデン業界とネットビジネス

NPO法人ガーデンを考える会
会長 水野 隆



今、話題のスマートフォン等のタブレット型端末の進化に伴い、急速に変化しているのがネット関連ビジネスです。

特にネット通販事業では、2011年度には8兆5千億円を超え、コンビニ全体の市場規模9兆1千億円に迫る勢いで、この5年で2倍程の伸び率があることを示しています。

ネット通販事業といえば、楽天・アマゾン・ヤフーがリードしていますが、今年の3月からはリクルートが新たに「ポンパレモール」を開設し3強の追従を狙っています。

更にその勢いを増しているネット通販事業ですが、小売り全体からすると2,8%程と、まだまだ小さく、今後の開拓の余地は大きく残されています。

このように拡大する市場の中で、我々の属するガーデンビジネスはどんな状況にあるのでしょうか。統計的な資料が取られていないので詳細は判りませんが、恐らくネット通販事業の中では伸び率の低いカテゴリーに含まれるのではないのでしょうか。

特に植物関連に絞れば、消費者にとって商品の品質が判断しにくいという欠点があり、販売側にとってもクレームの起き易い、取り扱いが難しいものと考えられているようです。

ところが、世の中にはネット通販では一般的には難しいとされているカテゴリーで大きく業績を上げているところもあります。例えばアメリカのシューズ通販「ザップス」では、アナログ的なカスタマーサービスの要素を加味し、サイズや履き心地等の様々な相談に対処し、シューズ小売では圧倒的な強さを誇っています。

また、ファッション衣料に関しては、試着しないと買にくいのが常識ですが、今や試着アプリによって、ネット上での着せ替え感覚でお買い物を楽しめ、これによってのアプリ通販売り上げが急速に伸びています。

日用の食料品分野においても、ローソンやファミリーマート、セブンイレブン等が宅配業者のみならず弁当宅配業者等の異業種と組み、高齢者や買い物がしにくい人々の利便性を高めて利用の向上を図っています。

園芸需要といえば、ある程度年齢の高い人々の需要に支えられており、それらの高齢の人々のネット利用を疑問視する向きもあります。ところが、総務省の通信利用動向調査によれば、60~64歳のネット利用率は約74%、65~69歳のネット利用率は約61%となっており、決して低いとは言えない状況になってきています。

現在の60歳代、いわゆる団塊の世代は、全世代の中で最も人口構成率が高く、しかも最も消費力が高いといわれ、この層を取り込むかどうかは売上向上のキーポイントとなっています。

このような状況の中で、どのようにしたら時代の波に乗れるかを考えてみない手はありません。園芸植物や用品、ガーデン設計や施工、どれをとっても説明無しでは購買に繋がりにくいものばかり。でも、ネットを使えば、詳しい説明が24時間、いつでもどこでも発信可能で、アプリの試着アプリのような「ガーデンアプリ」等が近い将来に出来れば、自分の家や庭を撮影してアプリに取り込むだけで、自分の好きなガーデンツールや植物・エクステリア等々を入れ替えて、楽しみながら購買に繋げることが夢ではなくなってきます。

新しい時代のイノベーションによって消費の行動も大きく変化してきます。この変化をいち早く取り組み、今後のビジネスに生かしていくことこそが、ガーデン業界に期待されていることではないでしょうか。



ガーデン会'net 会員'募集

NET、クラウドの活用は、スマートフォンや Pad など普及でますます、実用の段階に入ってきました。

ガーデンを考える会では、多方面にわたる情報共有の為に、交流のコミュニティーを準備いたしました。

利用するサイトは、一般には公開されない、登録会員内だけのクローズドなソーシャルグループです。

1. facebook の会員限定の交流グループと 2. セールスフォースの会限定交流サイト Chatter の 2 サイトを利用します。

face book 環境で ID をお持ちの方向けと、お持ちでない方、お持ちになりたくない方の為に Chatter 会員様のご要望に合わせて準備いたしました。片方でも双方でも、ご利用していただけます。

また、新規会員ご入会も 6 月末までは無料お試し期間ですのでお気軽にお試しください。

これにより、従来のイベント・勉強会などでの限定した、交流機会も、これにより毎日が交流会に広がり、さらに、NET ソーシャルでの発信力のある皆さんの参画や写真・動画の共有により、新たな広がり期待されます。

また、ソーシャルコミュニケーションの活用勉強会なども、順次開催予定ですのでご利用ください。

NET 会員担当理事 小塚純一

ガーデンを考える会
会員の皆様

ガーデン会 'net 会員' 募集へのご案内

この度、ガーデン会会員の皆様が会員としての参加意義や更なる活性化を図るため、「情報交流サイト」を立ち上げる事となりました。このサイトは、会員の皆様がガーデン会に所属されておられる価値をどのようにしたら見出す事が出来るかを考え、その手法の一つとして決定致しました。付きましては、一人でも多く会員の皆様にご登録頂き、当サイトを利用頂きながら盛り上げて参りたいと思っておりますので、宜しく願い申し上げます。

● サイトの特徴

基本的に会員限定の中でのみ情報交換が行なわれます。

● メリットは！

ガーデン会会員のメンバー様の中には、園芸資材、培養土、生産、流通、専門店販売、多店舗展開販売店、デザイン、エクステリア等多くの専門的な知見を持たれたトップランナーが揃わられています。この方々からサイトを通じ考えを尋ねるチャンスがあります。但し尋ねた内容に対し、必ず答えるという義務は会員相互に御座りませんので、徐々に精度を上げていく事が会員様相互に求められるところとなります。

● 登録申請

ご利用頂くには、パスワード・ID が必要となります。申請いただきました会員の方全員に、パスワード・ID を作らせて頂き御案内致します。

● 申し込み方法

添付又は同封されております「申し込み書」に必要条項を記入の上、事務局宛に送信または FAX 下さい。

● パスワード・ID について

一会員様に付き 1 個のパスワード・ID となりますが、正会員様に付きまして、5 個までのパスワード・ID を取得する事ができます。社内で複数の人に利用させたい場合は、申し込み用紙をコピーの上、御利用いただく方の名前を記入の上それぞれ送付下さるようお願い致します。

ガーデンを考える会 'net 会員' 募集 2013年3月31日まで
無料ご利用いただけます

net 会員とは

- ガーデンを考える会はガーデン業界各分野のスペシャリスト集団です
- netを活用した、ガーデン業界に関心の高い方との情報交換
- 情報発信力の高いNET交流会
- 従来の会員様からさらに拡大、大学の先生、活躍されているグリーンアドバイザー、ライフスタイルコーディネーターの皆さんなど

年会費 1万円(入会金なし) ※セミナー、ガーデンツアーなどの会員割引はありません。

会員限定サイトでの交流

- ① facebookのIDをお持ちの方のfacebook会員限定サイト
- ② Chatterを利用した会員限定コミュニティグループ
- ③ 上記に参加されない方にはメールによる月次交流レポート

facebook非公開グループに参加可能(SNS専門アドバイス情報もあります)

↓ こんな場面に活用ください ↓

協同プロジェクトの募集 コラボレーションの提案 モニターの募集

植物や各種部会などから「旬なトピック」 会員の皆さんからの各種イベント行事

発信力のあるNET会員のみならず先生方へ新商品情報

交流会

- 年2回セミナー交流会開催(通常部会とも共催)
- 会報「kaede」など通常情報も事務局からお届け

参考サイト

facebook ガーデンを考える会報分科会
(一般公開)

<https://www.facebook.com/npgarden>

net会員限定グループ
(会員限定サイト)

<https://www.facebook.com/groups/35069228406451/>

chatterグループ分科会
(Chatter限定公開)

<https://www.salesforos.com/jp/chat/>

お申し込み書	
お名前	所属
〒□□□□-□□□□	TEL
ご住所	FAX
E-mail	HP
facebookID あり・なし	ご紹介会員

お申し込み先 TEL 052-571-7911 FAX 052-571-2208
〒451-0045 名古屋市中区名駅2-25-16 〒451-0045 名古屋市中区名駅2-25-16
ヤマトビル4階(株)グリーン情報 E-mail npogarden@green-joho.jp



新しい造園樹木の研修会

「新樹種を食べる!？」

日本植木協会・新樹種部会が日比谷公園で開催

日本植木協会新樹種部会は10月26日、全国都市緑化フェアTOKYO2012開催中の日比谷公園・緑と水の市民カレッジで第11回新しい造園樹木の研修会を開催し、「食」をテーマに樹木のPRを行った。緑化フェア日比谷会場で展示中の新しい樹木実物を見て、触れながら、樹木のプロである生産者から特性や管理上のポイントを学べる研修会で、例年好評であり、今回はリピーターを含む参加者50名が参加した。

研修会に先立ち、実、葉、枝を、生食や加工して体に取り入れることのできる樹木約70種類を盛り込んだ「新樹種を食べる!？」ガーデンを、都市緑化フェア日比谷会場で会期中展示した。屋外で樹木実物見学会や、屋内で実りを迎えた、スーパーには並ばない珍しいかんぎつ類などの実りに触れ、香りを確かめ、味わっていた。



展示ガーデン植物の特徴や管理のポイント説明に多くのギャラリー



お庭の実り(クラブアップル、ブルーベリー、胡桃)を使ったスイーツ調理実演。試食に参加者の表情も和らぐ

新生 RHSJ キックオフパーティー

多彩な園芸関係者が盛大に祝う

2012年5月に一般社団法人となり、9月にはRHSJコンテナガーデニング協会との組織統合を果たした新生英国王立園芸協会日本支部(RHSJ)が11月30日、東京ステーションホテル大宴会場鳳凰の間で新生RHSJキックオフ・パーティーを開催した。

祝いに駆けつけたのは、北は北海道から南は九州まで全国の会員、関係者など約180人。英国やアメリカからの参加者もあった。

林野宏理事長、駐日英国大使館商務官の柳澤彰子氏、ブリティッシュクリエイティブデザインのマーク・チャップマン氏のあいさつと共にメッセージタイムでは、東京農業大学の近藤三雄教授、華道家の假屋崎省吾さん、須磨佳津江さん、西畠清順さんなど多くの関係者が祝辞を述べた。



主催者あいさつをする林野理事長



祝辞を述べる近藤三雄教授

ハンギングバスケット協会全国マスター会

高円宮妃殿下をお迎えし、格調高く盛大に

ハンギングバスケットとコンテナによる花の街づくり推進に寄与する日本ハンギングバスケット協会(石原記念男理事長)は、10月24日午後、東京上野の上野精養軒で「第14回全国マスター会」を開催。北は北海道から南は鹿児島まで全国のマスター約240名と、理事や来賓など約40名が参加し、高円宮久子妃殿下をお迎えして盛大に開かれた。協会は設立から16年目を迎え、会員数は全国で約2000名に上る。

石原理事長挨拶、高円宮妃殿下のお言葉のあと、恒例のデモンストレーションが行われた。今回のテーマは「パーティカル・ガーデン(緑の壁)」の提案。「KABE庭(かべにわ)」=グリーン武内、「FRP製額縁状ケースによる壁面緑化」=伊藤商事、「パトリック・ブラン式」の3方式について、デモンストレーターが特徴や制作方法を簡単明瞭に説明した。また、「都市建築空間での花の効果とそのための手法」をテーマに、日建設計総合研究所上席研究員の石川貴之氏が講演を行った。



お言葉を述べる高円宮妃殿下



「パーティカル・ガーデン(緑の壁)」デモンストレーション



緑のちから

緑に関係する仕事をしているせいか、日頃から緑のパワーを感じる事がよくあります。そして、緑の可能性を感じる事もよくあります。

私は東京郊外に住んでいるため通勤には毎日2時間弱。JRと東京メトロを乗り継ぎ、体が潰れてしまうのではないかとと思うくらい押し込まれた電車で全く知らない人とありえないくらい密着しながら毎日会社にたどり着きます。そして、かなり頻繁に電車が停まったり遅れたりします。理由はほぼ人身事故。人身事故の多くが飛び込み自殺だそうです。

そんな国、日本以外にありますか？ おそらく日本くらいでしょう。

なぜ、こんな事が毎朝起きるのか？ 皆さん、考えたことはありますか？

私が思うに、電車の中や駅構内の雰囲気がとても暗いのです。まるで収容所に送られる電車に乗っているようで元気に朝を迎えた私ですら電車の雰囲気に凹んでしまう日があります。

それではなぜ暗いのか？ まず、皆同じ色の鞆に靴に傘にコートに身を纏っています。それも黒かグレーか茶色。それ、楽しい気分にはなれませんよね。地下鉄もそうです。駅構内は冷えきっており照明も暗く牢屋にいるような雰囲気を醸し出しています。なぜそんなに急いでるの？とおもうくらい早歩きで下を向きどこかに向かう人ばかりです。それ、会社にも行きたくなくなります。

例えば、皆がもっと明るい赤や黄色や緑色の洋服に身を纏い、地下鉄構内も色とりどりの植物で溢れ水が流れていたりの光が差し込むくらい明るくなれば、自殺もきっと減少するのではないのでしょうか？ 植物をみてイライラする人はそういないと思います。良い酸素を沢山吸うと気持ちも清々になります。私は、週末は大半の時間を山の中で過ごすのですが、山の中に自分の身を潜めていると、実に穏やかな気持ちになりすべてのことを受け入れポジティブに考えることができるようになります。自然のちからってすごいですね、パワースポットとかいう言葉が最近流行っていますが、まさにそこにあるのかもしれませんが。緑は私たちの体の中の気流を循環させてくれる不思議なちからがあるような気がします。

緑に携わる仕事をやる人間として、少しでもこのような「みどりのちから」を意識しながら人と緑が上手に共存できる需要を創造していければとおもいます。



(株)リック
谷本智子



会員紹介

JA東海グリーン

弊社は、1987年に株式会社グリーンテックを設立。業容拡大のために株式会社JA東海グリーンに社名変更してから、2013年に10周年を迎えます。

全国有数の農業生産を誇る「JAグループ愛知」の一員として、魅力ある商品・サービスの提供により「農業」の喜びを広げるという理念のもとに設立いたしました。

花き産業を支える園芸消費世代の変化により、消費ニーズ等は大きく変貌しつつあります。そうしたなかで弊社は、園芸文化の発展と、環境に配慮したミラクル農法をベースにした新たな商品提案による需要創造を目指しております。



▲天然成分100%
「菜園ニームシリーズ」



◀連作障害対策に。
通年人気の
「ミラクルバイオ肥料」

主な事業内容

- 自社工場での肥料・用土の製造販売
- 野菜・果樹・花苗の生産販売
- 園芸専門店・量販店・ガーデンセンターへの植物及び関連資材の大卸
- 店舗開発、運営コンサルタント
- 愛知県産青果物の卸

株式会社 JA 東海グリーン

愛知県豊明市阿野町三本木 15-1

TEL 0562-96-0611 FAX 0562-96-0612

<http://www.jagreen.info/index.html>